と申しはべりしかば、

にかく言ふぞ。」

日

3

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

(1)

−①を、現代仮名遣いに直して、すべて平

仮名で答えなさい。

りて、 どは言ふこともなくて、降るる時に、軒丈ばかりにな木に登せてこずゑを切らせしに、いと危ふく見えしほ 高名の木登りと言ひしをのこ、人をおきてて、高き

「過ちすな。 心して降りよ。」

と言葉をかけはべりしを、 かばかりになりては、飛び降るとも降りなん。

が恐れはべれば申さず。過ちは、やすきところになり 「そのことに候ふ。目くるめき、枝危ふきほどは、 必ずつかまつることに候ふ。」

とはべるやらん。 と言ふ。 、難きところを蹴出して後、やすく思へば必ず落つ。あやしき下臈なれども、聖人の戒めにかなへり。鞠。

(第一〇九段)

() のを次の中から選び、 ──A~Cは、だれの動作ですか。適切なも それぞれ記号で答えなさ

(2)

ア 高名の木登り

木に登ってこずえを切っていた人

ウ 作者(吉田兼好)

己が

В

A

C

※句読点や符号も一字と数えます。 す内容を古文中から五字で書き抜きなさい。 ②とありますが、この言葉が具体的に指

(3)

③とは、だれのことですか。古文中から

書き抜きなさい。

(4)

かかった時間 正解数 分

組

番

名前

1

								⑷ 高名の木登り(と言ひしをのこ)	(3 車丈はかり)	(2) A イ B ア C ウ	1 (1) いいしおのこ
	間道	違った	問題を	確認	習してみ	みよう	ļ]	
		(第一〇九段)	とはべるやらん。 とはべるやらん。 まかしき下臈なれども、聖人の戒めにかなへり。鞠まところを蹴出して後、やすく思へば必ず落つ、まずれども下臈なれども、聖人の戒めにかなへり。		が恐れまべれば申さず。過ちま、やすきところになり「そのことに候ふ。目くるめき、枝危ふきほどは、記と申しはべりしかば、	『かばかりになりては、飛び降るとも降りなん。いかと言葉をかけはべりしを、『過ちすな。心して降りよ。』	りて、 とは言ふこともなくて、降るる時に、軒丈ばかりにな がは言ふこともなくて、降るる時に、軒丈ばかりにな ないとたいく見えしほ	高名の木登りと 言ひしをのこ	1 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。		
	書き抜きなさい。 4 ――③とは、だれのことですか。古文中から		※句読点や符号も一字と数えます。す内容を古文中から五字で書き抜きなさい。 3)――②とありますが、この言葉が具体的に指	A	ウ 作者(吉田兼好) イ 木に登ってこずえを切っていた人ア 高名の木登り	い。 のを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさ ② ===A~Cは、だれの動作ですか。適切なも		仮名で	(1) ――①を、現代仮名遣いに直して、すべて平の。 ぱい こうしょ まんてい こうしょ しょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょう はんて アン・ロース しょう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょう はんしょく はんしゃく はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしんしょく はんしんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし		